

あす민ノート
2015.9.30

Asumin Note 4

information magazine

KEYWORD

仲間同士の「信頼関係」で成り立っている

- 伝えたいヒトコト: 認定NPO法人ニコちゃんの会
- ステップアップ講座: ASUMIN NEXT
- 明日の共働を考える: NPOとNPOとの共働
- あす민美術館: 「はるかぜ」大淵孔遠さん作
- あす민オススメ事業: GOOD ACTIVITY FESTIVAL
- 新規登録団体: 2015.4~2015.8(42団体)
- 「はじめて」わかるボランティア





INTERVIEW

伝えたい ヒトコト

福岡市内の注目したい活動を行う
NPO・ボランティア団体を訪問。
キーパーソンとなる方に、
話をうかがい、活動のヒントを
みなさまにご紹介します。

認定NPO法人 ニコちゃんの会



理事長
森山淳子さん(もりやま・じゅんこ)



01



02



03

子どもが楽しく暮らせる社会を

－活動のきっかけは？

「どんなに重い障がいがあっても、子どもが楽しく暮らしていける社会があるといいな」と思い、1992年に『ニコちゃん通信の会』という、重症心身障がい児を子どもに持つ親の会を、仲間と共に始めました。娘が通所していた施設のお母さん仲間、よくお茶会をしていましたが、私の娘が3才4ヶ月で亡くなったことで、つながりが希薄になるのは嫌だと言いつけてくれた仲間の想いから、仲の良かった6人でこの会が始まりました。『子どもたちが楽しく暮らせる社会を目指す』この想いを発信しようと『ニコちゃん通信』という冊子をつくり、まず身近な人に読んでもらい、そこから多方面に広がっていき…と徐々にクチコミで活動が広がりました。ニコちゃん通信は2009年に発行を終えましたが、一番多い時で全国に800名ほどの会員さんがいました。」

－森山さんのターニングポイント

「ある時、私ひとりで病院の待合室にいくと、障がいのあるお子さんとお母さんが座っていて。ふとしたことから会話になり、最近子どもを亡くしたことを伝えました。その時、お母さんから『それは大変でしたね。でも、ちょっとほっとしましたよね？』って言われたんです。私の場合は、とにかく悲しい苦しい、しかなかったの、とてもショックでした。『そんなことないですよ』と一言残して立ち去りま

した。このお母さんは、『子どもに障がいがあるばかりに大変な生活を強いられている』と感じてるのかな、子ども親も切ないなあ、って思ったんですね。今思えばいろいろな意味で言ってくださった言葉だろうと思いますが、まだまだ若かった私は、なんだか涙が止まりませんでした。

以降、何か私にもっとできることはないかと考え、通信誌制作のかたわら、『お遊び助っ人企画』を始めました。どんなに重い障がいがあっても、子どもを連れてみんなで遊びに行こうと、キャンプやスキーを企画しました。最近では、『旅に行きたい！』という要望があり、一緒に大阪に行きました。病気が障がい理由で、実現が難しい非日常的な事をサポートするこの活動を『よかプロジェクト』と呼んでいます。他にも、演劇・身体表現・絵画・音楽などのアートを日常に取り込み、豊かな感情を育む活動などを行っています。」

仲間の力を信頼すること。

－福岡市との共働事業について

「2013年から、『おうちで暮らそうプロジェクト』を始めました。重症心身障がい児・者とその家族が、安心して自宅で暮らせる社会を目指し、緊急時に短期入所できる医療事業所の拡充などを目標とした事業です。ニーズ調査や試験運用、パーソナルブックの作成など、さまざまな手法でアプローチし、行政の方々と課題の重要性を共有できたと思います。今回は在宅支援課との共働でしたが、できれば複

数の課と共働したいです。私達のような団体が入り、行政の異なる課がつながり、できることが増えていく。こんな共働ができれば、より良いなと感じています。」

－大切にしていることは？

実はね、私自身は何もできないんです。言いたい放題に『こんなことが実現できたらいいよね。』って仲間に発信してるだけ。それが紆余曲折しながらも仲間の力でアイデアが形になっていきます。突拍子もない事言っても受け入れてくれる仲間同士の信頼関係でうちの法人は成り立っているんだと思います。

やってみて、間違っていたこともありましたが、その時は「ごめんね」って。お互い本心で話せば、共有している想いのところに、もどってくる。やっぱり信頼関係が一番大切な。」

団体情報

重症心身障がい児・者の居宅介護や訪問介護などの福祉サービスの実施、さまざまな体験ができるイベントなどを開催。アート活動も多彩。2015年2月「認定NPO法人」に認定。

【MAIL】 info@nicochan.jp

【HP】 http://www.nicochan.jp

01 「よかプロジェクト」で一行、大阪へ

02 「お遊び助っ人企画」で雪あそびに

03 演劇公演「BUNNA」の様子



COPRODUCTION COLUMN

明日の 共働を考える

共働には、さまざまな姿があります。
福岡がもっとよくなる共働とは？
その最前線にいる方々に、
共働をテーマにした執筆をお願いします。

NPO と NPO との共働



執筆者

長阿彌幹生さん(ちようあみ・みきお)

不登校サポートネット 代表
子どもNPOセンター福岡 副代表

- 01 子ども支援NPOで共働した市民フォーラム
- 02 不登校支援NPOの共働で開催したフォーラム
- 03 不登校支援NPO連絡協議会(ネットワーク)

NPO間の共働の必要性

20世紀末にP・F・ドラッカーが「NPO(非営利活動団体)だけが一人ひとりの人間に対し、ボランティアとして自らを律し、かつ世の中を変えていく場を与える。」(著書「ネクスト・ソサエティ」より)と述べて、21世紀はNPOの時代だと言い切っています。

その根拠として、20世紀までは営利活動が社会変革の主役だったが、その矛盾

が世界各地で紛争や格差を生み出している。それを解消するのは今までの考え方とは根本から違う非営利活動(活動目的が経済的利益ではない活動)だと期待を込めて予言しています。この背景には、欧米における各分野でのNPOの活躍とそれを支える個人・企業・政府の積極的な協力や共働(ボランティアや寄付・助成)の進展があります。

日本ではNPO法が1998年に施行されて以来、理解や協力が進んできましたが、未だ経済的基盤の確立には苦勞しています。しかし、このことは一方で共働の必要性を高めています。単独では難しいことも、いくつかのNPOが協力することで可能になります。費用負担が軽減されるだけでなく、知恵や心も集まってきて、相互の共働関係が形成されるのです。その結果、ネットワーク形成も進んでいきます。

NPO間の共働に必要な姿勢

しかし、実際にNPO間の協力はなかなか難しいと言われていています。イベントの共催程度のことであれば、各団体の違いは表面化しにくいですが、長期的な事業などの協力・連携となると、途中の話し合いなどで考え方の違いが協力関係を阻害することも起こります。各団体の思惑も働き、対立や反目に至ることもあります。

ある地方中核都市のNPOとの交流の席で、福岡ではどうしてNPO間の共働が進んでいるのですかと質問されたことがあります。何故ならその町ではNPO間の共働が進まず課題となっていたからです。

質問を受けて改めて気付いたことは、私たちが福岡で行っているNPO間の共働は、第一に共有する理念(考え方)があること、第二には各団体間の「違い」を共働の活力に転化できているからではないかということです。

私たちが子ども支援関係のNPO間共働では「子どもの権利条約」(1989年国連で採択)、「ノーマライゼーション」(世界共通の福祉規範)という考え方が共有されています。この理念を各NPOの活動の指針として位置づけ共有することで大きく緩やかな仲間意識が醸成されます。また、「違い」を活用して、単独では気付けなかった視点などを得て、活動の幅を豊かにすることが出来ます。活動の独善性を回避するためにも必要な姿勢となっています。

さらなる共働の前進に向けて

多くの課題を解決するためにもNPO間の共働は量的にも質的にも高まり深まらなければなりません。その実現の最も大切なものは相互理解の場の確保です。各NPOはそれぞれの分野での活動経験や知識・情報を持っています。それらを相互に交換したり、自らの活動の課題なども俎上に乗せながら、胸襟を開き、「どうしたら皆が良くなるか」という話し合いの場を持つことが必要です。

その結果、共働のパートナーシップが次々と形成され、さらにはネットワーク化も進んでいきます。また、そのネットワークは固定的なものではなく、課題が変わるたびに各NPO団体は離合集散し、その課題対応の最適な連携を柔軟に図ることができるようになっていきます。これこそ21世紀を担う社会変革力たるNPOの姿ではないでしょうか。

各NPO団体がその個々の脆弱性を補うために生まれた「NPO間の共働」が、それ自体の持つ熱意と誠実さと身軽さを発揮し、「共働体」として21世紀の共生社会の実現を推進していきます。共に手を取り合って進んで参りましょう。



01



02



03



ASUMIN RECOMMEND

あすみん オススメ事業

あすみんにはみなさんが参加できる
さまざまな事業があります。
ここでは、その中でも
旬な事業をお伝えします。



01

GOOD ACTIVITY FESTIVAL [CHANCE]

～公益活動の可能性を、ぐっと広げる3日間～

各日程のテーマ

- 10月30日(金) 共有[share]
- 10月31日(土) 挑戦[challenge]
- 11月1日(日) 連携[connect]

[会場]福岡市役所 1F 市民ロビー
[時間]10:00～17:00

01 昨年度の展示風景(市役所1Fロビー)

同日開催イベント情報

11月1日(日) 「ふくおが“できる!”マーケット」

[会場]天神中央公園(アクロス福岡前)
[時間]10:00～16:00
[主催]福岡県NPO・ボランティアセンター

今年のテーマは「チャンス」

「GOOD ACTIVITY FESTIVAL(グッド・アクティビティ・フェスティバル)」は、福岡で活動するNPOやボランティア団体、企業、行政などが取り組む“社会に良い活動=GOOD ACTIVITY”を紹介・応援するイベントです。テーマは「CHANCE(チャンス)～公益活動の可能性を、ぐっとひろげる3日間」。10月30日、31日、11月1日の3日間に渡り、福岡市役所1F市民ロビーにて、新しい出会いや学びのチャンスを生み出します。

内容は大きく分けて2つです。1つ目は、福岡市を拠点とした団体の活動を紹介する約30のポスターがずらっと並ぶGOOD ACTIVITY ギャラリー。子ども・教育、高齢者支援、まちづくり、環境など、身近な社会課題の解決に向けた取り組みを知ってください。もちろん気になる活動があれば、情報を共有・発信したり、活動を応援して下さると嬉しいです。

2つ目は、会場内ステージでの発表および講演会です。31日(土)は、鹿児島市の市民大学「サクラ島大学(*)」の学長である久

保雄太氏を招き、実施中のプロジェクトや地域活動、デザイン、人との関わり方などについてお話いただきます。また、福岡市創業・大学連携課が進める「学生活動発表会」もこの日、同じステージで実施します。学生が日頃より取り組む社会活動について発表し、審査を行います。

1日(日)は、午前中に市内で活動するNPO団体による活動発表を行います。午後からは、熊本県在住の准認定ファンドレイザー宮原美智子氏(NPO法人九州環境サポートセンター)を招き、団体の運営に役立つマネジメントやファンドレイジングの話題について講演いただきます。

ゲストでお招きする2人のお話は、特に貴重な“チャンス”のひとつです。NPO・ボランティア関係者だけでなく、企業の方、これから公益活動を始めてみたいと思っている方も、ぜひお越しください。

活動を始めるきっかけや、課題の発見、アイデアの拡張、共働できる相手との出会いなどを見つけてください。

*サクラ島大学は、学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。(ホームページ <http://sakura-univ.net>)

あすみんの2015年度後期事業スケジュール (詳細な日程・内容は、あすみにてお尋ねください)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
① 相談	●	●	● NPO会計税務個別相談	●	●	●
② 講座	● NPO法人入門講座(運営編)	● ボランティアコーディネーター養成講座	● NPO運営基盤強化講座	●	●	●
③ 交流	●	●	● NPO法人設立認証の説明会(毎月第2火曜日)【福岡市市民局主催】	●	●	●
④ 体験	← NPO・ボランティア体験プログラム「ハジメのイッポ」 →					



FIRST STEP OF VOLUNTEER

「はじめて」わかる ボランティア

「学校の授業でボランティアについて学びたい」
「ボランティア活動体験の機会がほしい」と
考えている学校の先生方をサポートしています。
この度、プログラムの概要を紹介する冊子を
制作し福岡市内の小・中・高・特別支援学校に
配布しました。

NPO・ボランティア出前講座とは

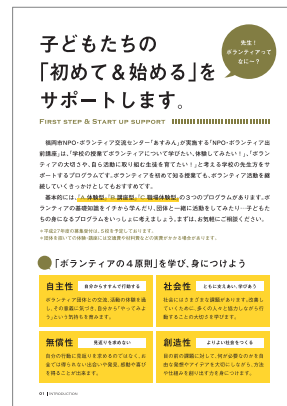
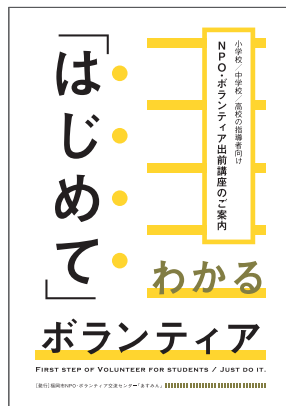
あすみんでは、かねてより学校向けの「NPO・ボランティア出前講座」を実施してきました。例えばNPOやボランティアについての基礎知識を授業として教えたり、ゲストとして実際にNPO・ボランティア団体に来ていただき体験学習を行ったりと、学校の要望に出来る限り応えるかたちで実施してきました。

そんななか昨年度は、ある小学校から講座と体験のどちらもやってほしいという要望があり、調整の結果、「基礎知識を学び」、「体験をして」、「子どもたちが感想や成果を発表する」という非常に充実したプログラムを実施することができました。(なんと授業6コマ分！)

もっと出前講座を活用してもらうために

講座を受けた生徒からも、先生からも、そして授業に参加していただいた団体からも、とても意義のある内容だったという声をいただきました。そこで、より多くの学校・生徒さんに、NPO・ボランティアの活動を体験できる機会を提供するため、この取り組みの内容を体系的に説明した冊子を制作し、市内の小・中・高・特別支援学校に配布しました。

出前講座のスタイルを「体験型」「講座型」「職場体験型」の3つに分けて紹介しています。実施の際は、学校の方針などに合わせて調整していきます。この冊子は、あすみんで閲覧することも可能ですので、興味がある方はお声かけください。



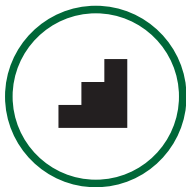
小学校／中学校／高校の指導者向け
NPO・ボランティア出前講座のご案内

01 冊子表紙イメージ

02 導入ページと「体験型」講座の紹介ページ

01

02



STEP UP

ステップアップ 講座

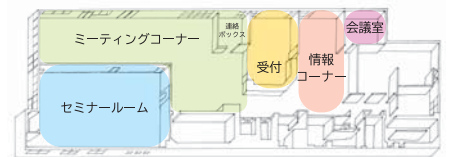
団体のステップアップにつながる
ツールや機会の活用法をご紹介します。
上手に活用して、今日からひとつ
スキルアップしてみましょう。

あたらしい場所で、さらなる広がりを

「明日(あす)を担う市民(しみん)」という思いを込めたセンター「あすみん」は平成14年10月6日に開設し、これまで43万人を超える皆さまにご来館いただきました。平成28年4月には、現在の中央区大名(青年センター)から、中央区今泉(中央児童会館等建替え施設)に移転する予定です。「あすみん」の移転とともに、皆さまが取り組む市民公益活動が、ますます広がり、多く実を結び、そして福岡のまちが豊かで活力あるものとなることを期待しております。



01



02

施設概要

【所在地】福岡市中央区今泉1丁目19番22号

【施設規模】鉄骨造 地上8階建て(7階及び屋上)のうち4階

【施設面積】専有延床面積 約510㎡

【開館時間】平日：午前10時～午後10時 日祝日：午前10時～午後6時

【休館日】毎月第4水曜日、年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)

ASUMIN NEXT

01 移転後のあすみん 施設外観イメージ

02 館内フロアレイアウトイメージ



ASUMIN MUSEUM

あすみん 美術館

アートを通して

人と人のつながりを生み出したい。

発表の場、コミュニケーションの機会となる

誌面ギャラリーです。

作品タイトル/作者

「はるかぜ」

大淵孔遠さん(おおふちくおん)

詩:柳川リハビリテーション学院言語聴覚学科3年学生



みんな青い空の下

ウォン、ウォン 春だな

ニャーニャー 春だね

ピチピチ 春だよ

パタパタ 春だし

出かけよう

桜の壁をこえて

たのしいな

【作者コメント】「子ども達は絵を描いている時、とても嬉しそうです。その明るく楽しいイメージで描きました。タイルのモチーフは久我記念館の外壁、両側の桜の中はその建物の外観です。僕の絵に素敵な詩を付けて下さいました。思いが伝わって嬉しいです。」



NEW ORGANIZATION

新規登録団体

あすみに新たにご登録いただいた

NPO・ボランティア等の

団体を掲載します。

(2015.4~2015.8)

- 特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・福岡
- the Muse
- 日本語クラス
- みらい(未来)
- FUKUOKAPLUS+
- 日本ベトナム友好協会 福岡支部
- ちはやとくら
- ず編集局
- 一般社団法人ふくおかFUN
- 折紙ボランティアゆうゆう
- 公益財団法人
- YFU日本国際交流財団
- 「特定非営利活動法人DKP」設立準備会
- 特定非営利活動法人九州キャリア・コンサルタント協会
- 特定非営利活動法人あすも特注旅行班
- キュアスマイル
- NPO女性おひとりさまの会
- すまいるん♪
- 朗読ボランティアはるかぜ
- 今学びたい100人の学問
- 特定非営利活動法人seed-F
- 九州賢女会
- 福岡・笑顔のコーチング会
- 火曜会(筑前国統風土記を読む会)
- 博多まちづくり推進協議会
- 一般社団法人地球市民学校
- NPO法人日本スポーツレクリエーション振興会
- Newサポート
- 福岡市学校図書館よみきかせボランティアネットワーク
- ぼらんていあグループ「スワンの会」
- 一般社団法人ピープラス
- 社会システム開発集団「team:beginning」
- 特定非営利活動法人まちづくりネットワーク福岡
- Mental Management Lab Reversal One
- 日本コリア協会・福岡
- 歴史教室
- フェリーチェ福岡ボランティア
- キャリコネット
- 劇団PA!ZOO!!
- いろはにこんべいとう
- ショートタイムワーカーズアライアンス
- 福岡市木材青年会
- NPO法人日本セルフブランディング協会
- 一般社団法人 ソーシャル事務局
- 今を生きる会

※団体の詳細な活動内容などについては、あすみんHPで検索ができます。

(登録順・42団体)

福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん

【住所】 あすみんは2016年4月1日に、今泉に移転しました。

【TEL】 092-724-4801 【FAX】 092-724-4901

【MAIL】 info@fnvc.jp 【HP】 http://www.fnvc.jp

【開館時間】 月~土曜 10:00 ~ 22:00 日曜・祝日 10:00 ~ 18:00

【休館日】 第4水曜日、年末年始 12月29日~翌1月3日



お越しの際は公共交通機関をご利用ください

- 地下鉄をご利用の場合
 - 地下鉄空港線「天神駅」徒歩約4分
 - 地下鉄空港線「赤坂駅」徒歩約6分
- バスをご利用の場合
 - 西鉄バス「西鉄グランドホテル前」徒歩約1分
 - 西鉄バス「大名2丁目」徒歩約2分
- 電車をご利用の場合
 - 西鉄電車「西鉄福岡駅」徒歩5分

